

再生医療実現拠点ネットワークプログラム
再生医療の実現化支援課題
研究開発課題評価(令和5年度実施)
事後評価結果報告書

研究開発課題名	再生医療研究とその成果の応用に関する倫理的課題の解決支援
代表機関名	国立大学法人東京大学
研究開発代表者名	武藤香織

1. 総合評価

優れている

【評価コメント】

再生医療研究の適切な実施とその成果の応用に備えた倫理面の課題解決のために、幅広い活動を展開し、調査・支援ともに細やかな質の高い取組が行われた。キャリアパス支援についても、本課題での直接雇用者が活躍の場を得たことは高く評価できる。一方、再生医療実現拠点ネットワークプログラム(再生医療の実現化支援課題)の事業期間中に、再生医療実現拠点ネットワークプログラム内で採択された支援対象の研究開発課題における倫理課題を PS、PO、AMED 事務局とともにより広く掘り起こして検討し、重要なものに焦点をあてて深掘りする余地はあった。今後、細胞移植医療に関する倫理的な課題は社会環境により変化していくことから、時機に適った情報発信が望まれる。国内のみならず海外への積極的な情報発信により、再生医療の倫理基盤のグローバルリーダーとしての活躍を期待する。特に、専門人材の育成に加えて、再生医療研究者の倫理リテラシー向上への更なる貢献を期待する。